

市政報告 「明日の習志野」 第13号

完全無所属

発行者：習志野市議会会派「明日の習志野」
代表 大宮こうた



3年間の報告：未来を拓く、前向きなまちづくりを！

2026年5月1日で市議の任期は残り1年となります。今号では、「完全無所属」という立場から市政の刷新に全力で取り組んできた成果について報告します。残り1年間も、ワクワクする習志野に向けて、前向きなまちづくりを推進して未来を拓いていきます。これからも、変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

① まちづくりの基本的な方向性

- 習志野市の将来像について提言書を出して、新しい総合計画（2026年度～2041年度）に前向きな政策や事業を多く反映。
- 予算編成方針の最重点に「子育て・教育」を位置づけることを要望し続けて実現。
- 人口動向や少子超高齢社会を踏まえて、福祉のあり方の見直しやタイミングのよい将来投資を促進。

② 水辺とともに豊かなまちへ

- 茜浜を豊かな海辺にするために具体的な提案をし、キッチンカーの出店、民間企業による花火大会が実現。
- 秋津近隣公園予定地（谷津干潟自然観察センター駐車場の隣）の活用を提起し、オービックシーガールズの練習場が完成。
- 高潮対策、清掃工場・下水処理場の広域化、海浜公園の活用等について大局的な視点で提言し、着実に推進。

③ 子どもにやさしいまちへ

- 「義務教育の無償」原則の真の実現に向けて、学習教材（彫刻刀や算数セット、ものさし等）の共用品化、進路費の全廃、学校徴収金の改善、給食の無償化（小学校）を実現。高すぎる中学制服等に関する検討体制を確保し、値下げやあり方の見直しへ。
- 人口減少社会における小・中学校の総合的な役割を示して、まちづくりの視点から学校施設の一層の活用を強く提起。

④ 住民が主役となるまちへ

- 新習志野駅周辺の新たなまちづくりを提案し続けた結果、新しい総合計画に「新習志野駅勢圏の活性化」が重点政策として明記。2026年度は交通量調査や県・近隣市との協議が開始。

【日々の活動状況】市民要望（433件）への迅速な対応、こまめな情報発信、自分の足での街歩き（現場確認、市全域を歩いて踏破）、毎月のオンライン意見交換会、駅頭活動等を積極的に行っています。



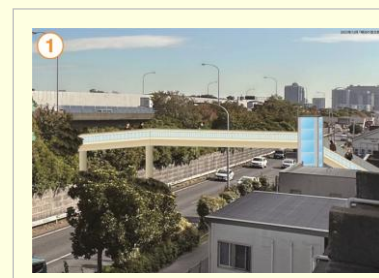
2026年3月議会の様子。まちづくりへの想いを込めて、自分の言葉で語り、議論を活発にリードしています。



2025年8月、来年度予算に向けた要望書を市長に提出。批判や指摘ではなく、前向きな提案を大事にしています。



中学入学時にそろえる制服等は10万円以上もします。そもそも、制服とは何のためにあるのか、生徒の視点を大事にして改善していきます。



新習志野駅と秋津公園を直結させる歩道橋のイメージ図。新しいまちづくりを進めるために、早期の実現を目指します。

新清掃工場は、建て替えではなく、広域化を！

2026年3月、習志野市は、財政状況の厳しい見通しを踏まえて、2032年4月から稼働予定としていた新清掃工場の整備について、計画の見直しを表明しました。見直しの理由は、工事費や人件費の上昇等で事業費が500億円を超す規模になってしまったことです。

市は計画の「撤回」ではなく「見直し」という説明をしています。しかし、厳しい財政状況に加えて、市の予算規模（約800億円/年）を考えれば、私は、**新しい清掃工場は市単独ではなく、国・県が進めている広域化の中に位置づけて、近隣市と共同で整備・運営していくべき、と**考えて、積極的に提起しています。

習志野市は、生活に不可欠なごみ処理の施設整備計画も見直しとなる財政状況です。私は、**総合的な視点で既存事業を見直し、人口の維持やまちの活性化につながる前向きなチャレンジを積極的にすべき！**と主張し、「新習志野駅勢圏の活性化」等の事業を推進しています。今後も前向きなまちづくりをリードして、具体的な成果を出していきます。

市政報告会の開催(6月28日)

会派による市政報告会を、2026年**6月28日(日)10時～11時半**、**新習志野公民館**2階の多目的室で行います。事前登録不要・参加費無料となりますので、お気軽にご来場ください。市政や議員活動等についてご報告したうえで、前向きなまちづくりや市政の課題について意見交換ができれば幸いです。よろしく願いいたします。

オンラインでの報告:毎月行っています！

毎月一回、オンライン（Zoom）で、活動報告や意見交換を行っています。開催については以下のWebサイトでご案内します。「聞くだけ」、「画面OFF」でも構いません。お気軽にご参加ください。

<https://www.omiya-kota.jp/meeting/>



現在の清掃工場。10年先を見わたせば、ごみ処理施設の広域化は今よりも進んでいきます。今回の計画見直しをチャンスとして、習志野市も広域化を決断すべきタイミングです。

【議員定数の削減！】

習志野市議会は、3月24日、議員定数削減(2名削減し、28名へ)を決めました。

私は、生活に密着する市政を担う市議の役割と責任は大きいと考えています。一方、定数については、人口規模や経済社会インフラの整備状況等を踏まえて、生活圏として適当な小学校区数16と同じ「16名」でよいという考えです。よって、今回の議員定数の削減には大賛成です。

今後も更なる定数削減に向けて取り組んでいきます。

会派・所属議員の紹介

【会派】明日の習志野(あすのならしの)

2023年5月、ワクワクする習志野を創るために結成された会派。特定の政党や組織の支援は一切受けずに、**対話重視、現場主義、前向きな提案**を活動指針としている。

【所属議員】①大宮こうた

1980年7月生まれ、1期目。東京大学教養学部卒、米国シラキュース大学行政大学院修了。JICA(国際協力機構)勤務後、**ワクワクするまちづくりで習志野を盛り上げるため、完全無所属**で2023年4月の市議選で当選(3位)。

ともに、明日の習志野へ

日常的な発信はブログ、X(旧Twitter)、Instagram、ブログ、Youtube等で行っています。オフィシャルサイトのリンクからご覧ください。**市政報告のバックナンバーもサイトからご覧いただけます。**ご要望、ご意見等もお待ちしています。

特に、**一緒に習志野を盛り上げたい方、習志野市政に挑戦したい方、ぜひご連絡**をいただければ幸いです。ともに、明日の習志野に向かって、習志野市政に前向きで**ワクワクする変化**をもたらしていきましょう！

【連絡先】✉ info@omiya-kota.jp 📞 090-9130-9434

